



PolyTune™

ユーザーマニュアル

重要・安全のために

- 1 注意事項をお読みください。
- 2 注意事項の書類は手の届くところに保管してください。
- 3 全ての警告をお守りください。
- 4 全ての指示に従ってください。
- 5 本装置を水気の近くで使用しないでください。
- 6 本装置の手入れは、乾いた布のみを使用してください。
- 7 換気に必要となる本装置の開口部は塞がないでください。本装置の設置は、製造者の指示に従ってください。
- 8 ラジエーター、ヒート・レジスター、ストーブ、アンプリファイア等、またそれに限定されないあらゆる熱を発する機器の近くに設置しないでください。
- 9 本装置に設置するアクセサリーや装着器具は、製造者指定のもののみをご使用ください。
- 10 本装置の点検・修理は、必ず資格を持った技術者にご依頼ください。電源アダプターのケーブルやプラグが破損した、液体を本体にこぼした、本体シャーシ内に異物が入ってしまった、雨や過度の湿度にさらした、本装置の動作異常が生じた、本装置を落としたなど、原因に関わらず本装置に破損が生じた場合はサービスが必要です。

警告！

- 感電や発火のリスクを軽減するため、本体に水が垂れたりはねる環境での保管・使用は避け、花瓶等液体の入った物を本体の上に置かないでください。
- 閉じられた空間に設置しないでください。

サービスについて

- 点検・修理は、必ず資格を持った技術者にご依頼ください。

注意

本マニュアルに明示されていない本体の変更・改造を行った場合、本装置を操作する権利を失うことがあります。

バッテリーを交換する際には、必ず本マニュアルに記載されているバッテリーの扱いに関する指示に従ってください。

EMC/EMI

本装置は FCC 基準 Part 15 に準ずる Class B デジタル機器の制限事項に適合するための試験に合格しています。

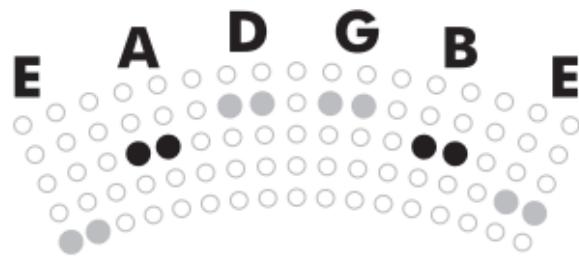
これらの制限事項は、居住地域での設置時に生じうる有害な電波障害を規制するために制定されたものです。本装置は無線周波エネルギーを生成・使用しており、これを放射することができます。指示に従った設置と使用を行わないと、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。しかしながら、特定の設置状況において電波障害を起こさないという保証はありません。本装置がラジオやテレビの受信に障害を与えていないかを判断するには、本装置の電源を落としてから再投入してください。障害を及ぼすことがわかった場合、次の方法で障害の解消を試みることを推奨します。

- 受信アンテナの方向、設置場所を変更する
- 本装置と受信機の距離を遠ざける
- 本装置を受信機とは別の系統の電源回路に接続する
- 必要に応じて、販売代理店、または経験のある無線／TVの専門技術者に問い合わせてください。

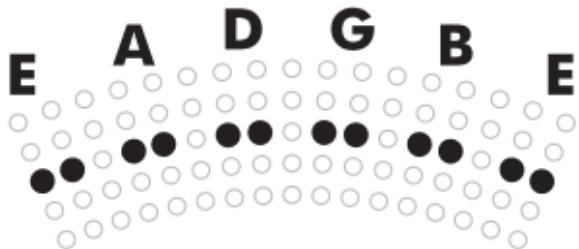
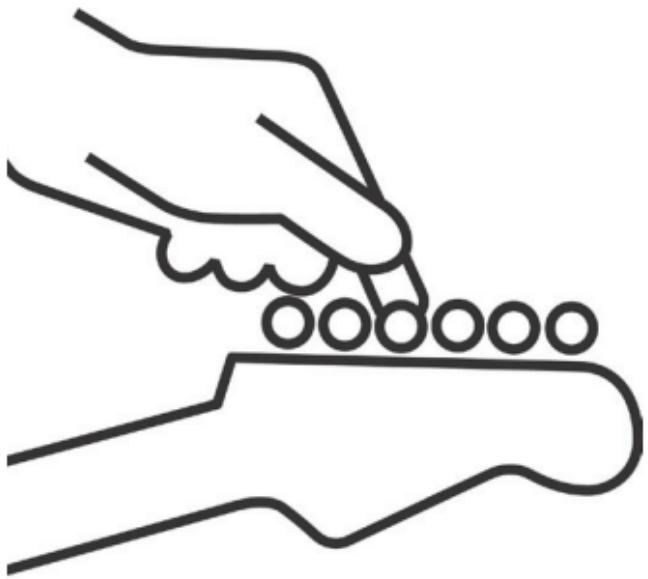
注意

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003. Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada. 本 Class B デジタル機器は、カナダ ICES-003 に準拠しています。

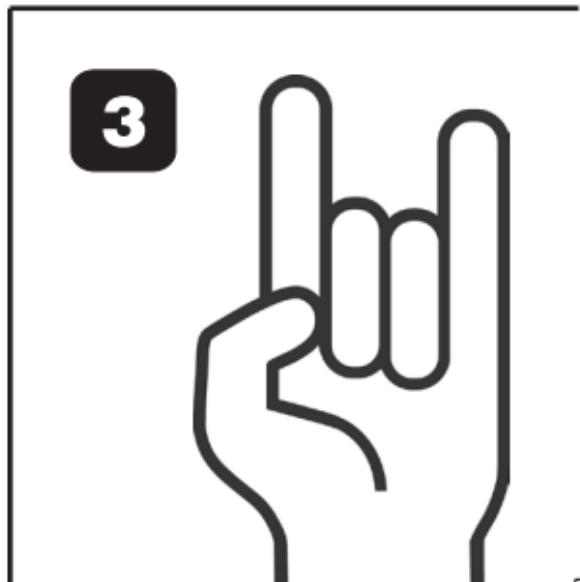
1



2



3



(JP) イントロダクション

エレキギターがギターという楽器に革命をもたらしたように、PolyTune™はチューナーに革命をもたらします。PolyTune™は、チューナーの歴史上、最も画期的なイノベーションだと言えるでしょう。

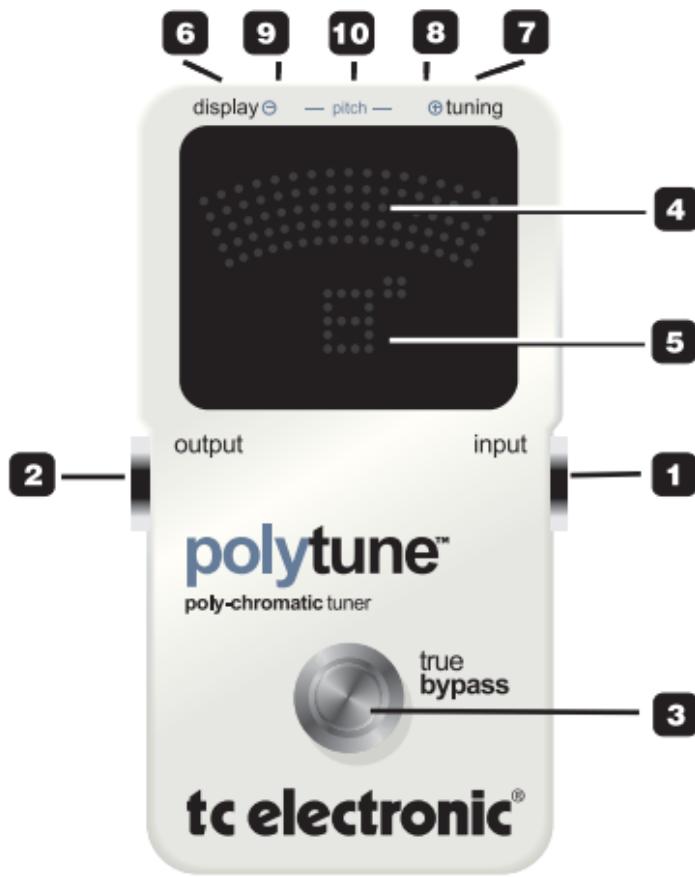
今、貴方が手にしている PolyTune™ギター／ベース・チューナーは、従来の方式に比べて、より効率的で洗練されたチューニングを提供します。

全ての解放弦を同時に鳴らすと、PolyTune™は瞬時にチューニングの合っている弦とそうでない弦を明確に表示します。今までのように弦を一本ずつ順番に確認する必要はなく、手順は、ストラム（弦をかき鳴らす）・調整・演奏…以上です。

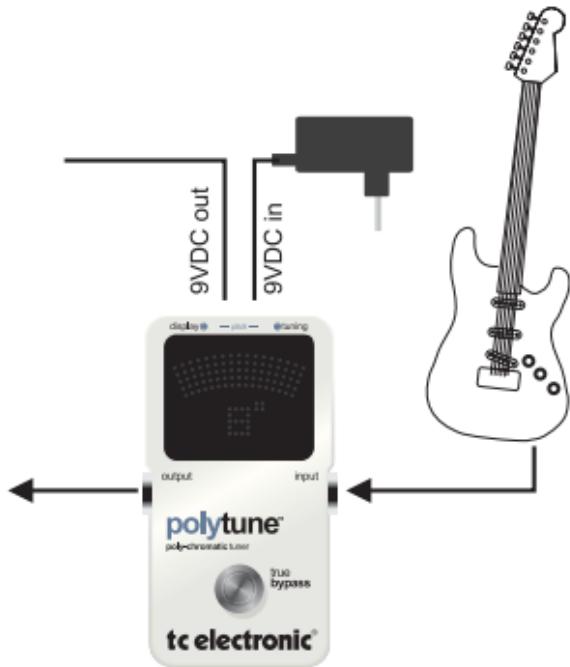
ドロップDチューニングにも対応しています。通常の PolyTune モードとドロップDの切り替えはシンプルそのものです。

カポを装着していても、PolyTune モードを使用できます。PolyTune／クロマチック／ドロップDのチューニング・モードに関わらず、カポ・モードを選択するだけでチューニングを進められます。

今までのチューナーと同様の、クロマチック・チューニングも可能です。PolyTune™は「MonoPoly」特許アルゴリズムにより、入力が単音・和音のどちらであるかを自動的に解析し、チューニング方式を切り替えます。PolyTune™はギタリストとベーシストのチューニング方法を根本的に変えることでしょう。



- 1 - モノラル標準 1/4" ジャック・インプット
- 2 - モノラル標準 1/4" ジャック・アウトプット
(トゥルー・バイパス)
- 3 - チューナー・オン／オフ・スイッチ (トゥルー・バイパス)
- 4 - チューナー・ディスプレイ (クロマチック+ポリモード)
- 5 - ノート・インジケーター
- 6 - ニードル／ストリーム・トグル
- 7 - ドロップ・チューニング & カボ・モード切り替え
- 8 - パワー・イン (9V DC)
- 9 - 他のペダルへのパワー・アウト
- 10 - サービス・ポート



接続

INPUT - インプット・ジャック: モノラル標準 1/4" ジャック・ケーブルで楽器をここに接続します。電池を使用する場合、消耗を防ぐために未使用時にはここへの配線を外すことをお勧めいたします。

OUTPUT - アウトプット・ジャック: 他のペダルまたはアンプやミキサーに接続します。無音でチューニングが行なえる様、チュナー起動時に出力はミュートされます。PolyTune™はトゥルー・バイパス仕様のため、バイパス時にはトーンに影響を与えません。

パワー・イン・ジャック - 9V DC パワーサプライ用の端子です。

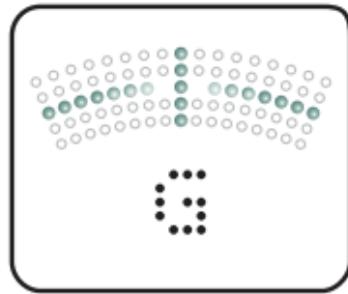
パワー・アウト・ジャック : 外部パワーサプライを使用する場合、PolyTune™のパワー・アウトから他のペダルに電源をデイジーチェーンできます。



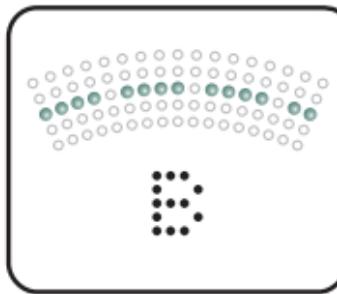
- 外部パワーサプライをパワー・アウト端子に接続することは絶対にしないでください。PolyTune™の誤動作または故障の原因となります。デイジーチェーンしたペダルの上限は 2A です。
- パワーサプライが接続されている全ての機器に十分な電力を供給できることを確認してください。
- チュナーの性能をフルに発揮させるため、PolyTune™は歪みのペダルよりも前に接続してください。

チューニング・モード

PolyTune™はポリフォニックとクロマチックの2つのチューニング・モードを搭載しています。DISPLAY (ディスプレイ) ボタンを押す度に、次の通りモードが順番に切り替わります:ニードル (G) →ストリーム (G) →ニードル (B) →ストリーム (B)。「G」はギター、「B」はベースです。2秒間ボタン操作を行わないと、チューニング・モードに戻ります。



ニードル・モード - ギター



ストリーム・モード - ベース

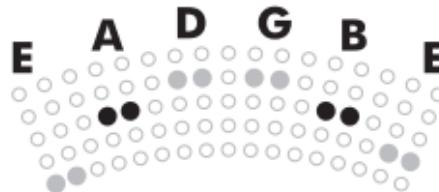
クロマチック・モード - 通常のクロマチック・チューニングを行ないます。弦は1本ずつチューニングします。ディスプレイ表示はニードルとストリーム形式のいずれかを選択できます。

ニードル (針) 表示モード - 針形式のチューニング表示を行ないます。チューニングが正確だと、センターのグリーンLEDが5つと、左右矢印が点灯します（上記参照）。

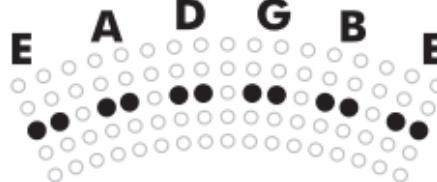
ストリーム表示モード - LED 表示の移動方向でチューニングのずれを表示します。音程が高すぎると右に流れ、音程が低すぎると左に流れます。チューニングが正確だと、LED 表示が動かなくなります。

ポリ・モード

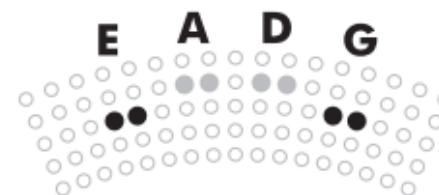
このチューナーはポリフォニック仕様です。PolyTune™では、ギターまたは4/5/6弦ベースの、全ての弦のチューニング状況を同時に把握することができます。全ての解放弦をしっかりと均一の強さでストラムすると、微調整が必要な弦が瞬時に把握できます。弦の微調整をクロマチックとポリ・モードどちらで行なうかは自由です。



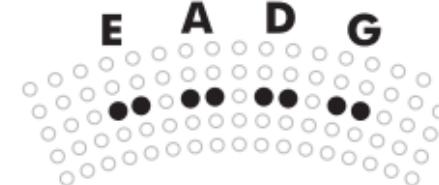
ギター - チューニングずれ



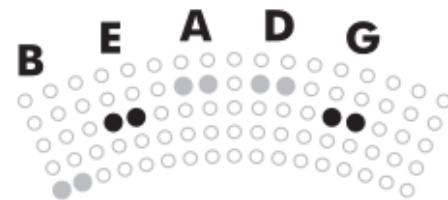
ギター - 正確なチューニング



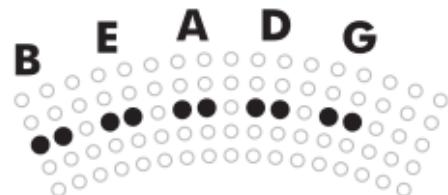
4弦ベース - チューニングずれ



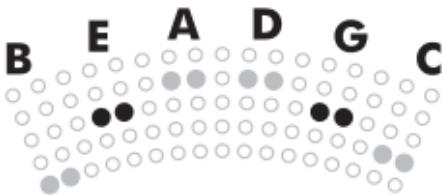
4弦ベース - 正確なチューニング



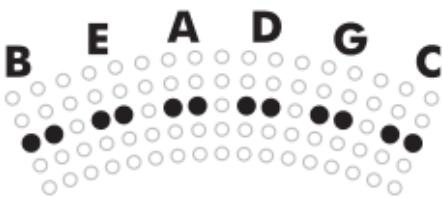
5弦ベース - チューニングずれ



5弦ベース - 正確なチューニング



6弦ベース - チューニングずれ



6弦ベース - 正確なチューニング

モードの切り替え

PolyTune™はTCエレクトロニックの「モノ／ポリ」検知テクノロジーを採用しており、自動的に単弦または複数の弦同時に鳴らしているかを検知します。クロマチックとポリ・モードの切り替えに特別な操作は必要なく、自動的に行なわれます。



ポリ・モードでチューニングする際に最良のチューニング精度を得るには、ネック側のピックアップを使い、親指でストラムすることをお勧めいたします。

ドロップ・チューニング&カポ・モード

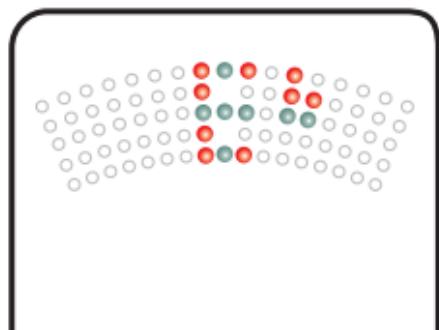
PolyTune™はドロップ・チューニングとカポ・モードに対応します。ドロップ・モードは最大5セミトーンまで、カポ・モードは1～7フレットへのカポ装着に対応します。



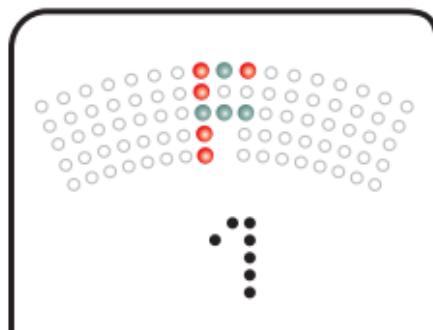
チューニング・ボタンを押す毎に、スタンダード (E) モードから下記の順でモードが切り替わっていきます。

ドロップ・モード : Eb / D / Db / C / B

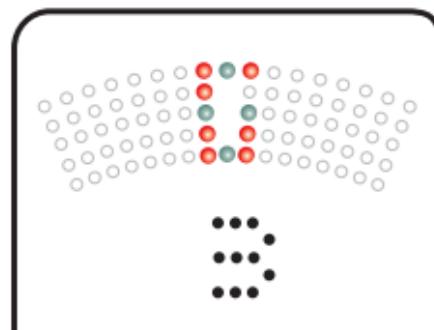
カポ・モード : F1 / Gb 2 / G3 / Ab 4 / A5 / Bb 6 / B7



例：ドロップ・モード Eb



例：カポ・モード F1
(カポを1フレットに装着)



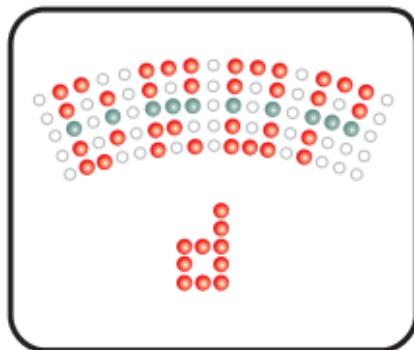
例：カポ・モード G3
(カポを3フレットに装着)

- 一周すると、スタンダード (E) モードに戻ります。
- 2秒間ボタン操作を行わないと、チューニング・モードに戻ります。
- ドロップ・チューニングとカポ・モードはドロップ D モードと組み合わせられます。

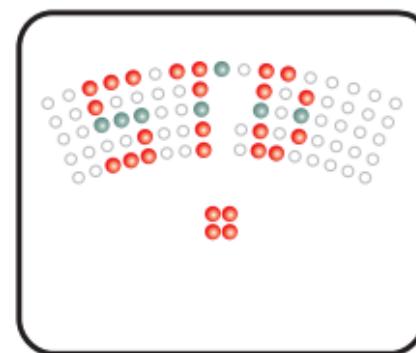
ドロップ D チューニング・モード

一番低いE弦をDに下げる際に使用します。このモードは、D A D G B Eのチューニングの際に使用します。このモードに切り替えるには、オン／オフ・スイッチを3秒間踏み込んだままにします。

ドロップ D モードに入る際には、
ディスプレイに DROP D と表示されます

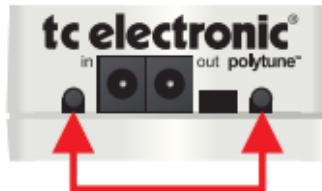


スタンダード（標準）モードに入る際には、
ディスプレイに STD と表示されます



基準ピッチのキャリブレーション

工場出荷時の基準ピッチは 440 Hz に設定されていますが、435 Hz ~ 445 Hz に 1 Hz 単位で変更できます。基準ピッチを変更するには、リアパネルの両方のボタンを一度同時に押して、次に左右片方のボタンでピッチを上下させます。設定はディスプレイに数値で表示されます。設定完了後 2 秒間操作を行なわないと、通常のチューニングに戻ります。



キャリブレーション開始



基準ピッチを上げる



基準ピッチを下げる

その他の設定

ディスプレイ彩度の自動調節 - ディスプレイの右下にはアンビライト・センサーが搭載されており、環境の明るさに合わせてディスプレイの彩度を自動的に調節します。環境に合わせて適切な明るさを確保する目的だけでなく、最大の彩度が必要ない状況では明るさを抑えることにより電池の寿命を延ばす役割も果たします。

現行の設定表示 - インプットにジャックを挿入すると、ペダルの状況が表示されます。デフォルトの設定は次の通りです：チューニング=E、基準ピッチ=440 Hz、表示形式=ニードル。



PolyTune™は、電源を落としたり電池を外しても、最後に使用した設定を保持します。

電池の交換 - ペダル裏側のネジを外して、バックプレートを外します。古い電池を外してから、新しい電池を正しい極性で装着します。バックプレートを装着して、ネジを締めます。電池の消耗を防ぐため、使用していない時はインプット・ジャックを外してください。



電池を加熱や分解したり、炎や水に投入することは絶対にしないでください。充電用以外の電池は充電しないでください。長期間ペダルを使用しない場合は電池を外してください。電池を廃棄する際は、法規や条例に従ってください。

電池消耗の表示 - 電池の残留電力が低くなると、一定期間毎に「BATT」と表示されます。

(JP) 仕様

チューニング・レンジ A0 (27.5 Hz) ~ C8 (4186 Hz)

チューニング精度 ±0.5 セント

基準ピッチ A4 = 435 ~ 445 Hz (1 Hz ステップ)

入力インピーダンス 500 kΩ (ペダル ON 時)

電源 9V バッテリー × 1、または AC アダプタ (9V DC、別売)

消費電力 45 ~ 50 mA (一般的な使用状況時)

寸法 (W x D x H) 72 mm x 122 mm x 45 mm

重量 300 g / 10.6 oz (電池含む)

付属品 ペダルボード固定用 3M ベルクロ・テープ × 2

仕様は予告なく
変更となることが
あります。

tc electronic®

*TC Electronic, Sindalsvej 34, DK-8240 Risskov
info@tcelectronic.com*